

日本気象学会1992年度秋季大会の告示

1. 期 日：1992年10月7日（水）～9日（金）
2. 会 場：札幌市教育文化会館（一般発表会場＝7
日午後以外）
〒060 札幌市中央区北1条西13丁目
（電話 011-271-5821）
北海道厚生年金会館（式典・シンポジウ
ム・懇親会場＝7日午後）
〒060 札幌市中央区北1条西12丁目
（電話 011-231-9551）

3. 研究発表：

- 1) 発表は口頭またはポスターによって行う。口頭発表は4会場に分かれて行う。
 - 2) 口頭発表には2種類があり、これらの選択は原則として発表者の希望による（「口頭発表の方法」参照）。スペシャル・セッションも口頭発表に準ずる。
 - 3) ポスター発表は「ポスター・セッションの方法」による。
4. 講演申し込み方法：

発表方法にかかわらず、号末の申込用紙に記入し、予稿集原稿を添えて申し込む。原稿の書き方については231ページの「講演予稿集原稿の書き方」を、申込先・申込期限等については申込用紙をごらん下さい。

5. シンポジウム：

テーマは「都市豪雪」（仮題）。

今回は都合により、第1日と第2日の午後の日程が通常と入れ替わり、次のようになります。

10月7日午後…授賞・授与式、記念講演、シンポジウム、懇親会（厚生年金会館）

10月8日午後…口頭発表（15：30ごろまで）、ポスター・セッション

大会参加費の払込は、郵便振込による前納または当日受付によります。前納用の振込用紙は5月号に挿入します。交通・宿泊案内、スペシャル・セッション（「航空機による大気観測」「雪」の2件）の趣旨説明も5月号に掲載します。

口頭発表の方法

1. 種別

次の2種類のどちらかを発表者が選択して申し込む。

- ・第1種講演＜講演5分、質疑2分＞：新しい研究成果の要点・概要等を発表する。
- ・第2種講演＜講演10分、質疑5分＞：よくまとめた段階の研究成果を発表し討論する。予稿は明確に構成記述され、必ず1章を設けて主張の明らかなまとめまたは結論が明記されたものでなければならぬ。講演企画委員会は予稿をチェックし、第1種に

振り替えることがある。この場合、委員会は申込者に連絡する。

なお持ち時間は、申込総数によっては上記よりも短くなることがあり得る。

2. 申込件数の制限

1人（連名の場合、同一講演者）で申し込める口頭発表は1件に限る。ただし、独立したテーマの研究に限り、第1種講演1件の追加は認める。

ポスター・セッションの方法

1. 概要紹介に引き続きポスターの前で説明を行う。概要紹介もポスター・セッションも第2日（10月8日）午後に行われる予定。
2. ポスター・セッションは30分～1時間でこの間は口頭発表は休憩とする。
3. 概要紹介は直前の口頭発表のセッション（4会場のいずれか一つを講演企画委員会で指定する）で講演者自身が行う。時間は1～2分で OHP またはスライ

ドを1枚だけ用いることができる。

4. ポスターは事務局の指定した場所に掲示する。なお、掲示板に余裕があれば大会期間3日間を通じて掲示することもできる。
5. ポスターの掲示および撤去は講演者自身が行う。なお掲示に必要な紙またはテープは事務局で用意する。
6. 掲示板は90cm(縦)×180cm(横)である。ただし、ポスターは大きな紙一枚に書く必要はない。例えば、

B4サイズの紙に分けて描き、当日掲示板に並べてもよい。

や図は2〜3m離れても、はっきり分かるように書く。

7. ポスターには講演題目と講演者名を明記する。文字

講演予稿集原稿の書き方 必ず濃い黒色インクを使って下さい

講演予稿集は、オフセット印刷により、著者の原稿をそのまま写真にとって原版とし、B5判に縮刷します。講演を申し込む会員各位は、本誌挿入の予稿用紙に、次の要領で原稿を作成のうえ、講演申込用紙とともに期限内にお送り下さい。

1. 原稿用紙 本誌挿入の用紙を使用する。1件1頁（用紙は2枚差し上げますが1枚は予備です）。
2. 文字の色 黒または黒色のインクで書く。コピーした文章を予稿用紙に貼ってもよい（ワードプロセッサでインクが薄い場合はこのほうが安全）。ただし枠外に貼りつけたり書いたりした場合はその部分は印刷されません。
3. 配置 表題：原稿用紙第1行に書く（長ければ第2行も使う）。
著者及び勤務先：第3行に書く（著者が多ければ第4行も使う）。勤務先にはカッコをつける。
本文：第5行目（必要な場合は順次繰り下げる）左半から書き始め右半に及ぶように書く。
4. 図及び表 用紙の枠内の任意の箇所に墨または黒色インクで直接書くか、白紙または青色方眼紙（青色以外は不可）に墨または黒色インクで書いて枠内に貼りつける。写真や図等には折り目が入らないようにして下さい。階調のある写真はうまく出ません。
5. 著作権 予稿集に掲載された文章および図表の著作権は日本気象学会に帰属する。
（注）予稿集を新規に予約したい方は本号末に挿入された葉書をご利用下さい。

講演用スライド等の作成について

1. スライド（35mmマウント）・OHP 原稿は見る人の立場を考慮して鮮明に作成して下さい。表や数式の行数は1枚に7行（最高10行）が適当です。また文字の大きさには特にご留意下さい。
2. スライドの場合、マウントに番号をつけ、上下を揃えて、当日会場で担当者に渡して下さい。

講演企画委員会

講演企画委員会からのお知らせ——研究会活動への援助について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な援助をします。具体的には、大会プログラム等への掲載、講師を呼ぶ場合の報酬・交通費などの資金、会場・機器の手配、時間の調整などが考えられます。支援を希望する方は、右記の事項を明記の上、講演企画委員会へ申し込

んで下さい。

申込先・申込期限：一般講演と同じ

- 記入事項
1. 会の名称とテーマ
 2. 代表者の連絡先
 3. 希望日時・開催場所
 4. 予想参加人数
 5. 希望する支援内容